

をつなぐ減災推進事業」について、また株式会社あわせ美波本社『初音湯』では、同社をはじめ株式会社イーツリーズ・ジャパン、海陽町と美波町で真牡蠣の養殖や種苗育成を行っている株式会社リプルから美波での取り組みについて話を聞きました。

石田大臣からは5G化やAI、IoTなどの最先端技術を用い実現するSociety5.0など、現在総務省が進めている新しい社会構造への取り組みの一部が、既にこの小さな町で具現化しつつあることへの驚きとともに、今後ますますの発展を期待しているとの力強いエールをいただきました。



(写真左) ミナマリラボでの視察の様子。(写真右) サテライトオフィス企業関係者に質問する石田総務大臣。

■ サテライトオフィス企業が「新たな連携」をキックオフ！

8月19日、「みなみテック」なるイベントがミナマリラボで発会しました。

主催したのは平成29年にサテライトオフィスを開設した株式会社イーツリーズ・ジャパン(本社・東京都八王子市)の船田悟史代表です。

「サテライトオフィスと言うと私のようなIT系企業のイメージが強いのですが、この町には建築設計やデザイン、映像制作など様々な業種が集まっています。私自身も東京では考えられなかったような交流がこの町で実現しました。せっかくの機会を無駄にすることなく、お互いの持つ技術を学び合い、協力・協働から“美波発”の新しいものを生み出せればと考えています。」

そんな思いを語ってくれた船田代表に賛同し、初回はサテライトオフィス企業関係者や開設を検討している企業の関係者、そして近年、サテライトオフィス企業との連携を強化している阿南高専の教授陣など約30名が会場に。インターネットの中継を通しての参加者もありました。

今後も定期的に開催し、地元企業や住民の方々にも参加してもらえるようにしていきたいとのこと。また様々な分野のプロフェッショナルによる子ども向けのワークショップ開催など、地域への貢献もできればとの抱負も語っていただきました。



「みなみテック」の開催趣旨と、自社の技術について発表する船田代表。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリノ2階)

制作：美波ふるさと創造広報チーム

